

製品名: KLKB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87801**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:71 kDa; Observed MW:80 kDa

抗原情報

遺伝子名	KLKB1
別名	PKK; PPK; KLK3; PKKD
遺伝子ID	3818
SwissProt ID	P03952
免疫原	ヒト KLKB1 の合成ペプチド

背景

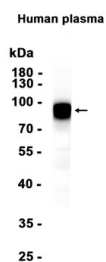
この遺伝子は、血液凝固、線溶、キニン産生、炎症の表面依存性活性化に関与する糖タンパク質をコードしています。コードされて

いるプレプロタンパク質は、高分子量キノーゲンとの非共有結合複合体として血漿中に存在し、活性化凝固因子 XII を介したタンパク質分解処理を受け、重鎖と軽鎖からなるジスルフィド結合ヘテロ二量体セリンプロテアーゼを生成します。この遺伝子の特定の変異は、プレカリクレイン欠損を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2016年1月]

研究分野

-

画像データ



KLKB1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト血漿組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。